

ウイルコム

高齢者の暮らしを守る情報伝達システム
ワンアクションで介護現場の課題を解決

増え続ける「介護難民」や介護スタッフの人材不足、世話をする家族の「介護疲れ」など、日本の介護事情は深刻だ。こうした課題を解決する一助となるべく、ウイルコム株式会社は今春、注目のシニア向け通信機器をリリースする。

「いくら家族でも四六時中付きっきりで介護することはできません。介護施設でも、人手不足でナースコールに

追い付かないケースもあると聞きます。我々の技術を使って、これからの介護のために何ができるかを考え、



高橋 剛治 社長

使い方が簡単でシンプルにSOSを発信できる装置を開発しました」

と高橋剛治社長が語るのは、5月に発売を予定する「無線ボタン装置」。ボタンを押すだけでスマートフォンに信号が送られ、アプリケーションが起動する情報伝達・制御システムだ。

高橋社長が「お家でナースコール」と例えるように、介護される側が装置を持ち、スマートフォンを介護する側が所有すれば、お互いが普段通りの生活を送りながら素早く有事に対応できる。

また、起動したアプリケーションは通信網を使って遠隔地のスマートフォンなどに情報を伝達。装置とスマートフォンを同じ人が所有すれば防犯ブザーとして機能し、装置のボタンを押すだけでスマートフォンに予め登録されている人物にメッセージや場所の情報が送られる仕組みだ。

無線通信機器と
携帯電話を今春発売

「ワンアクション」にこだわり、介護する側・される側の負担や不安を軽減する「無線ボタン装置」。高齢者のニーズと動線を的確に捉えた同社の商品は、4月にも販売される。(株)ナビックスと共同開発し、高橋社長が「今年の目玉」と位置付ける多機能SIMフリー携帯電話「CP100」である。

読み易さを考慮し、文字や入力キーのサイズを大きくしただけでなく、停電時にも役立つLEDライトも搭載。

「無線ボタン装置」と同じくSOS機能を備え、予め登録してある5件の連絡先に順次、緊急事態を伝えることができる。「人暮らしの高齢者はもちろん」「操作に自信がない」「機能が充実した機種が欲しい」「防災・防犯面も重視したい」と考える人にも最適だ。

FMラジオや動画・写真の撮影、音楽の再生、格安SIMにも対応するなど豊富な機能を持つ「CP100」だが、インターネットには簡易接続できず、電話以外の通信方法はショートメールのみ。そこには振り込め詐欺などの危険性を未然に防ぎ、「高齢者の暮らしを守りたい」という高橋社長の決意が込められている。(谷)

「会社データ」

本社 神奈川県横浜市金沢区福浦2-11-2

☎045-370-8090

設立 2000年11月

資本金 3000万円

社員数 23名

売上高 11億5000万円 (2017年5月見込み)

事業内容 携帯電話周辺機器・用品及び自動車用品・日用品等の製造販売

<http://www.willcom-co.com>

<使用例>



SOSを瞬時に伝える「無線ボタン装置」



シニア向け多機能SIMフリー携帯電話「CP100」

- ワンタッチ撮影
- FMラジオ搭載
- LEDライト搭載
- SOS機能
- SIMフリー
- 電池長持ち